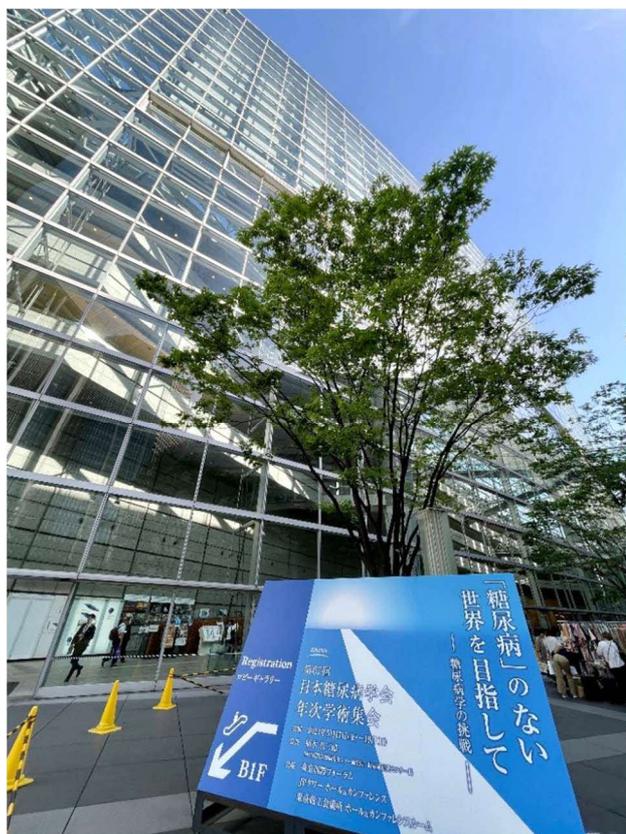


2024年5月17～19日の3日間、東京で開催された「第67回日本糖尿病学会年次学術集会」に参加しました。日本糖尿病学会年次学術集会とは、同学会が主催する年に一度の総会で、全国から集まった糖尿病内科専門医の先生が最新の研究成果を発表し、熱い議論を交わす場です。東京都千代田区丸の内にある東京国際フォーラム（JR 東京駅から歩いて5分）が会場でした。東京国際フォーラムは、ガラス張りの美しい建物です。たくさんの先生が急ぎ足で会場や展示場に向かいます。昔は学会プログラムが掲載された、分厚い抄録集を片手に移動したのですが、最近はずべてスマートフォンで検索できます。





会場から徒歩 10 分のところに銀座があります。

銀座 4 丁目の和光・本店、有名な時計台ですね。

当科主任部長もインスリンポンプに関する臨床

研究の結果をポスター発表して参りました。私は

1 型糖尿病のセッションで発表しましたが、実に

たくさんの先生方（3重の垣根！）に囲まれての

発表でした。最新の知見を得ようとする先生方の熱意を感じました。お写真は、

無事に発表が終わってほっとしている主任部

長です。医師だけでなく、製薬会社・医療機器

メーカーの研究者にとっても、年次学術集会は

最先端の臨床研究の結果を発表する貴重な機

会です。彼らの作成するポスターは完成度が高

く、とても勉強になりました。メディカルスタ

ッフ（糖尿病療養指導士の資格を有する看護

師・薬剤師・検査技師・管理栄養士など）の糖

尿病教育指導に関する発表もあり、糖尿病治療に関わるすべての医療スタッフ

にとっても、日頃の成果を発表する絶好の機会です。当科では、医師のみならず、

メディカルスタッフの発表も主任部長が責任を持って指導致します。



1年前のお話になりますが、2023年5月の「第66回日本糖尿病学会年次学術集会」は、鹿児島市が開催地でした。え？鹿児島？？と思いましたが、実は大阪から鹿児島まで、新幹線みずほで乗り換えなしの3時間48分！大変便利です。



学会会場の城山ホテルからは、鹿児島のシンボルである桜島と錦江湾が大変美しく見えました。この時には、当科主任部長（当時は部長）がMedtronic社より推薦を受け、「ミニ

メド™770G システム HCL 使用経験に関する小セミナー」で講演を行いました。

栄えある年次学術集会での講演会のご依頼に、心より感謝申し上げますと共に、

「当院における外来インスリンポンプ導入とその後の支援体制」について、具体

例を挙げながら30分間講演致しました。

翌朝のMorning RUN & WALK では

かつて全日本代表バレーボール選手でロ

ンドンオリンピック銅メダリストの迫田

さおりさんと2ショット写真を撮りました！



年次学術集会での学会発表や講演の準備は、本当に大変ですが、それだけ

に、心に残る素敵な体験もまた得難く、来年も頑張ろうと思うのでした。